

平成16年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	81	学校名	県立並木高等学校				課程	全日制			学校長名	覺幸鐵太郎				
教頭名	鈴木義人							事務(室)長名			石塚とし					
教職員数	教諭	50	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	10	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	4	技術職員等	3	計	72
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	140	180	145	174	150	169			435	523	24				
	科															

2 目指す学校像

1. 未来を切り拓く人材の育成
2. 生徒一人ひとりを大切にした教育の推進
3. 地域に信頼され、夢を提供する学校づくり

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	学習意欲の乏しい生徒の増加とともに、家庭での学習時間が少ない。	自学自習の習慣化と学習意欲を高める授業の展開
進路指導	進路に関する意識の希薄化と国公立大合格者数の減少	「世の中」を学ばせ、自分の進路を考えさせる。国公立大合格者数を増やす。
生徒指導	挨拶・服装はかなり改善されたが、遅刻者がまだ見られる。自転車通学のマナーが守られていない。	遅刻指導の徹底と安全教育、自己防衛・自己管理教育の推進
特別活動	生徒会役員やかえで祭実行委員の意識は高いが、一般生徒の参加への意欲が低い。	生徒中心の活動を促すとともに、部活動加入率を高める。

4 中期的目標

1. 学力向上
2. 進路指導の徹底
3. 生徒指導の徹底
4. 生徒の個性を発見し、伸ばす
5. すこやかな心と体を育む
6. 環境の整備と校内美化の推進
7. ITの活用
8. 教育相談の推進
9. 保護者・地域住民との連携強化
10. 学校運営の組織化と効率化
11. 指導体制の確立

5 年度ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
16年度	学力向上推進事業の実施	上位者を伸ばすとともに、偏差値4.5以下の生徒をなくす。シラバスの作成と自学自習の習慣化をはかる。	
	個々の生徒に応じた進路情報の提供	「世の中」を学ばせ、自分の進路を考えさせる。マイフューチャー（社会人講座）の実施。	
	自製の精神を育む	基本的な生活習慣の確立遅刻指導の徹底と安全教育、自己防衛・自己管理教育の推進。	
17年度	学校行事を含めた特別活動の充実	生徒中心の活動を促すとともに、部活動加入率を高める。	
	学力向上推進事業の展開	センター試験校内平均を全国平均以上にする。シラバスの内容を充実させ、学習意欲を高める。	
	自分に適した進路の発見	個人面談・進学ガイダンスの充実。世の中に役立つ生き方を考えさせる。	
	自律できる生徒の育成	H R活動や部活動を通じて、仲間を思いやり、自己を律する心を養う。	
18年度	生徒会活動・部活動の活性化	生徒会活動への一般生徒の参加意欲を高める。県大会、関東大会等の上位大会への出場を増やす。	
	学力向上推進事業の完成	センター試験偏差値5.5以上の生徒を100名以上とする。国公立大、難関・中堅私大に100名以上合格者させる。	
	進路実現のための的確な入試情報の提供と受験指導の充実	一般・推薦・AOなどあらゆる入試システムに対応できる体制の確立。	
18年度	あらゆる生命を尊び、他に尽くす心を養う	学校行事・学年行事・H R活動を通じて、他に尽くす喜びを体験させる。	
	生徒が自ら企画し運営する生徒会活動の実現。	生徒が充実感を持てる活動を促し、学業との両立を実現させる。	